

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 広藤建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内内で共有、実践している。	●		・経営理念を策定し、常に社員等が見える箇所に掲示している。 ・従業員は、自らの仕事の役割を理解し、受注工期内完成に向けて日々取り組んでいる。 ・新しい工法を積極的に取り組む仕組みが出来ている。									8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・会社全体の方針として、毎朝のミーティングにおける講和により、一社会人としての法令順守の重要性を社員へ向けて発信している。																		16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・工事受注契約時の対応として、不正競争行為に関与しない、会社独自の見積価格で応じている。												10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・工事受注後は、地元の方々へ工事内容を説明し、要望等をお聞きするなどして、安全かつ早期竣工に向けて取り組む事を基本としている。																			16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・社員への安全講習時に、知的財産の重要性、必要性に関する講義を取り入れている。									8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・社員等の個人情報については、必要最小限の利用にとどめ、閲覧者は最小限としている。																			16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事受注後は、発注者と工事内容、工法、材料品質等について着工前会議を実施し、着工後は疑問点、変更点について、早急に打ち合わせを行っている。 ・協力会社とも、同様に着工前、施工中の定期会議を行っている。																		16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10			12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9			11			13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・事業承継については、各種セミナーに参加し、今後の会社経営の在り方について検討している。									8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8						12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内での差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別の禁止について雇用方針を確立し、雇用後の事前研修実施を行っている。 ・差別やハラスメントに関する講話を機会あるごとに行い、明るく開かれた社風作りを目標としている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8			10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・日々、各々の工事現場へ出発する際は全体ミーティングを行い危険作業の洗い出し等のKYを実施して、日々の安全作業の意識合わせを行っている。 ・工業界の安全への取り組みのポスター等を掲示している。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正社員や派遣社員及び協力会社社員の公平な待遇を行っている。					5.5				8.5			10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・四週八休工事の受注により、職場環境の改善に積極的に取り組んでいる。 ・ゴールデンウィーク、盆休み、年末年始等の休暇を会社全体の休みとして取り入れ、社員の休息を図っている。 ・積極的な資格取得を目指し、研修等への参加を行った結果、直近で難関資格の取得に合格した社員もおり意識も向上している。 ・資格取得者は、給与時に資格種別に合わせて特別手当を支給している。			3		5.5				8.5 8.8			10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●						4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員の健康管理維持のため、毎年人間ドックを行っている。 ・受診後、異状が見つければ再検診を行うように指導している。 ・インフルエンザ予防接種は積極的に取り入れている。また、今後行われる新型コロナ予防接種についても積極的に取り組んでいく。			3						8											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・仕事内容や昇進・昇給等は、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5				8.5			10.2 10.3								16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・土木建設業において、テレワーク業務への移行は困難ではあるが、事務処理業務(資料作成等)については、在宅勤務を行っている。			3						8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●												8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●								3	4			8	9				12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・現場で発生する、有害物質については、他の廃棄物と混在しないように表示区分を行い、保管場所を明確している。 ・廃棄にあたっては、マニフェスト伝票により、廃棄場所、数量等を確認し管理している。			3.9								11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・工事関係に使用する電力、ガソリン、灯油等については使用量を管理するとともに保管場所を明確にしている。 ・工事注意表示灯に使用する電力は、ソーラー電力を取り入れている。														13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・現在施工中の熊本市発注の花畑広場整備工事(工期:2019.12~2021.11(予定))の電気、ガソリン使用量から簡易計算シートにより温室効果ガス排出量の把握を実施する。【予定 2021.12】			2.4										12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・工事現場においては、現場状況を着工前に十分把握し、環境変化等に影響がないように留意し、工事進捗を図っている。																14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・メール等の印刷物の削減に心掛け、印刷紙の再利用を図るため不要印刷物の裏面使用を積極的に行っている。 ・長文の印刷は、両面印刷を行い印刷枚数の削減を行っている。								9.4					12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・常に節水を念頭に置いて業務遂行を行っている。 ・工事現場においては、汚濁水の排水管理を徹底している。			2.4									11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・工事材料の使用については、発注者と打合せを行い、施工品質が落ちる事の無い環境に配慮した材料を提案している。 ・例として粗骨材の原料は、再生材70%新材30%の混合材を使用している。								9.4					12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2											12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・工事現場時事務所や通行人の目に付く所に移動式花壇を設置し緑化活動を行っている。 ・熊本市発注の、花畑広場整備工事は、幹事会社として積極的に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●																				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●																				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●																				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●	・工事車両の購入にあたっては、排ガス規制適合車、燃料効率の良い機種を選定している。 ・各工事現場への移動は、車両の効率的を計るため、乗り合わせで移動している。																			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																					

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	・工物品質の確保について、発注者の意図をくみ取り、新工法を取り入れた品質の向上を計り、工物品質向上を念頭に施工している。	3.9							9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	・工事現場は、工事個所の段差の有無、分かり易い工事内容表示版の掲示、歩行者用仮通路への誘導等々高齢者、児童等の立場に立った現場環境整備を行い、安全第一で取り組んでいる。								9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地域産品を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●							7						12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・受注した工事は、地域責任者等の意見要望を聞くとともに、地域参加型のボランティア活動等へ積極的に参加している。 ・施工中の熊本市発注の花畑広場整備工事においても、地域の方々と清掃ボランティア等に参加し、日々の見回り清掃作業も実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・天候状況を常に把握し、豪雨や突風等の工事現場への影響を事前に想定し、防災措置を講じている。				4							11.5		13.1				16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	・現在施工中の熊本市発注の花畑広場整備工事現場に、“SDGs”の看板を設置している。 ・通行者の目を引く様に“SDGs”のイラスト入り看板を掲示し、“SDGs”の解説を行い啓蒙活動を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	・毎年、工業高校等へ声掛けを行い、インターンシップの受け入れを行っている。 (2019.11実施:3人 2020.11:3人)				4				8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●	・地元生徒、学生を積極的に採用している。 ・地元工業高校新卒者を採用した。 (2017.4:1人 2018.4:1人)				4.4				8.5 8.6										17
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2					4.3 4.4 4.5		8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。